

# むさしの環境フェスタに参加して まつり

社東京都ペストコントロール協会 理事 葛西 晋平

11月6日(日)武蔵野市武蔵野クリーンセンターにおいて「むさしの環境フェスタ」が開催された。環境と一口にいっても様々なテーマを持った各種団体が出展しており、わが東京都ペストコントロール協会は住環境の衛生維持に寄与する団体として、市より依頼を受けた。

武蔵野市での出展は今回が初めてで、おおよその来場者数、年齢層など基本的なデータが無い状態で準備を進めなければならず、配布物はどれくらい用意すればよいのか？害虫相談をされるような方が来るのか？など、不安な点が多々ありました。

さて話は変わりますが、この武蔵野クリーンセンターとはいったい何ぞや？と思われた方もいらっしゃるでしょう。要はゴミの処分場のことで、リサイクル、リユース、リデュースが具体的に垣間見える場所であり、このフェスタの開催意図と合致するために選択された場所と勝手に想像する。

当日はどんよりとした曇り空で、気温もや

や低く来場者の出足も鈍かった。また祭りなどでは集客力を発揮する飲食店のブースも少なかったのが原因だと思うのだが、ようやく昼頃に活気が出始めた。

リーフレット、マグネットを渡しながら協会のアピールを続けていると、やがて害虫相談にいらっしゃる方も増え、スタッフが交代で対応していく。

やはりネズミの相談が一番多く、その他ゴキブリ・ハチ・ハクビシンなど、多岐にわたった。余談だが、市民の方によると武蔵野市はハクビシンの目撃が多いそうで、当日の会場であったクリーンセンターや市役所など、広くて草木が多いところにかかなりの頻度で出没するそうである。今後、武蔵野市民からの相談にはハクビシンが多くなるのではないだろうか。

来場者が少なく最終的に配布物は200程しか配れなかったが、今後活動を継続することにより、武蔵野市に対する貢献、協会の認知度も高まってくるものと思われる。

